

質問書に対する回答⑤

件名) 首都圏中央連絡自動車道 東金地区耐震補強設計

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	特記仕様書 2-6 橋梁耐震補強設計 既設動的解析 本郷矢部高架橋	本郷矢部高架橋のP7～P14, およびP15～P22は、二柱式と柱式橋脚が混在しておりますが、二柱式の歩掛と柱式(単柱式)の歩掛の加重平均をするものと考えてよろしいでしょうか。異なる場合、計上方法についてご教授ください。	加重平均をするものとして想定しております。
2	特記仕様書 2-6 橋梁耐震補強設計 既設動的解析 東金 I C A ランプ橋	① 東金 I C A ランプ橋の A1～P6 のラーメン式橋脚は二柱式の歩掛で考えてよろしいでしょうか。異なる場合、計上方法についてご教授ください。 ② 東金 I C A ランプ橋の P6～P12 のラーメン式に二柱式の歩掛を適用して、また、壁式に単柱式を適用して、二柱式と単柱式の加重平均するものと考えてよろしいでしょうか。異なる場合、計上方法についてご教授ください。 ③ 東金 I C A ランプ橋の P12～P23 は、壁式に単柱式の歩掛を適用して、二柱式と単柱式の歩掛の加重平均するものとして考えてよろしいでしょうか。異なる場合は、計上方法についてご教授ください。	① ラーメン式橋脚は二柱式橋脚として想定しています。 ② ラーメン式橋脚は二柱式橋脚として、壁式は単柱式として想定しています。また、二柱式と単柱式は加重平均するものとして想定しています。 ③ 壁式は単柱式として想定しています。また、二柱式と単柱式は加重平均するものとして想定しています。
3	特記仕様書 2-6 橋梁耐震補強設計 既設動的解析 酒蔵高架橋	酒蔵高架橋は上部工形式が R C 17 径間連続中空床版桁ですが、積算基準には 15 径間までしか明記されていません。積算上は 15 径間+2 径間の歩掛で計上すればよろしいでしょうか。異なる場合、形状法についてご教授ください。	15 径間以上の歩掛については調査等積算基準の歩掛を参考に歩掛を類推し、採用することを想定しております。
4	特記仕様書 2-6 橋梁耐震補強設計 既設動的解析 東金 I C B ランプ橋	① 東金 I C B ランプ橋の P7～P11 は、壁式に単柱式の歩掛を適用して、また、ラーメン式に二柱式の歩掛を適用して、加重平均するものと考えてよろしいでしょうか。 ② 東金 I C B ランプ橋の P11～A2 は、壁式に単柱式の歩掛を適用してよろしいでしょうか。その場合、混在ではなくなりますが、積算の考えとしてよろしいでしょうか。異なる場合、計上方法についてご教授ください。	① ラーメン式橋脚は二柱式橋脚として、壁式は単柱式として想定しています。また、二柱式と単柱式は加重平均するものとして想定しています。 ② 壁式は単柱式として想定しており、混在はなくなります。